



令和5年分 三河港 貿易概況（速報）の要旨

令和5年分について、輸出は「荷役機械」、「プラスチック」などが減少したものの、「自動車」、「鉄鋼」、「金属鉱及びくず」などが増加したことから対前年比 43.3%の増加となった。また、輸入は「果実」、「有機化合物」などが減少したものの、「自動車」、「鉄鋼」、「原動機」などが増加したことから、同 29.5%の増加となった。その結果、差引額は2兆4,984億円の輸出超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
三河港	3兆6,271億円	+43.3%	1兆1,287億円	+29.5%	2兆4,984億円	+50.5%
	3年連続の増加		3年連続の増加			

輸出				輸入				
	概況品名	金額	伸率		概況品名	金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 自動車	3兆4,651億円	+45.0%	増加品目	(1) 自動車	9,918億円	+31.8%
		(2) 鉄鋼	555億円	+45.6%		(2) 鉄鋼	457億円	+30.7%
		(3) 金属鉱及びくず	128億円	+79.7%		(3) 原動機	88億円	+115.8%
	減少品目	(1) 荷役機械	60億円	▲37.0%	減少品目	(1) 果実	8億円	▲86.9%
		(2) プラスチック	36億円	▲30.4%		(2) 有機化合物	34億円	▲32.9%
		(3) その他の化学製品	303億円	▲1.1%		(3) 肥料	5億円	▲68.6%
地域別動向	北米、西欧が増加			地域別動向	西欧、アジアが増加、アフリカは減少			

(参考) ドルレートは、140.17円（前年比7.2%、9.4円の円安）であった。

(注) 年間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。